

高野新聞

Vol.87



たかの
高野 たけし

無所属 44歳

逗子市議会議員（4期）

- ・総務常任委員会委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・議会活性化推進協議会委員
- ・総合的病院に関する特別委員会委員

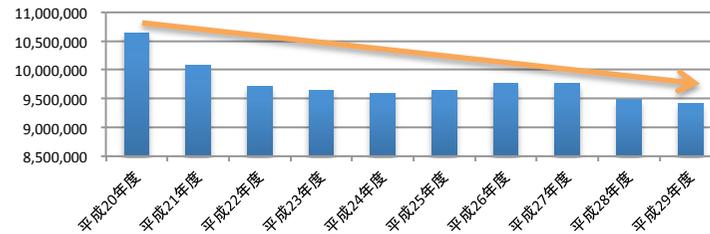
高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

先日閉会した第2回定例会において、現在の厳しい財政状況を鑑み『緊急財政対策本部』を設置するとの発言が市長よりありました。これは、ここ数年の義務的経費の増加に加え、歳入不足が主な原因であると考えられます。

【市税収入の推移】

(単位:千円)



※平成20～28年度は決算額、平成29年度は当初予算額となっています。

また、計画的な財政運営を行うための貯金である『財政調整基金』は、現時点での残高が約1億3百万円となっており、今年度は積み増せる見込みもないことから、このままの状態が続けばさらに財政基盤が不安定になることは明白です。

【財政調整基金の推移】



(単位:千円)
※平成29年度の財政調整基金年度末残高においては現時点での見込み数字となっています。

政治資金の残り

あと 77,102円

(3/1～5/31の内訳)

支出…名刺

6,112円

ポスター掲示用両面テープ

862円

こうした財政状況を踏まえ、今定例会の一般質問においては以下の点について市長及び理事者に質しました。(一部掲載)

◆事業のスリム化は喫緊の課題

来年度予算を編成するにあたって、仮に今年度と同額の4億6千万円程度の繰越し金を見込んだとしても、新たに5～6億円程度の捻出が必要になるとの試算も出ています。本市の財政規模を考えると、これだけの予算を捻出するには、福祉や教育などに加え、生活に密着しているサービス事業は現在の規模を維持しながらも、すでにある一定の成果を上げたもの、さらにはその役割を終えた事業の見直しを早期に進めるべき旨提言したところ、事業の優先度を見極め市民の理解を得るよう努力しながらドラスティックに取り組んでいくとの回答がありました。

また、現在未利用となっている市有地の売却など、資産の整理も並行して行っていくよう求めたところでした。

◆スケールメリットは得られるのか？

今後葉山町との間で予定されている容器包装プラスチックと植木剪定枝のゴミ処理連携においては詳細なコスト比較を行い、両自治体におけるメリットを明らかにした上で進めるべき旨提言したところ、施設整備費や人件費、運搬コストも含め早期にその有効性を検証していくとの回答がありました。

◆民間活力を活かした災害対策

災害時備蓄品の拡充を図るにあたっては、市内事業者の協力を得て、万が一の時に食料や飲料、医薬品などを提供していただける体制づくりを提案したところ、充足率の低い介護用品なども含め備蓄品を充実させられるよう、引き続き提携事業者の拡大を図っていくとの回答がありました。

さらに、進捗率の低い逗子海岸周辺の津波避難ビル指定など、災害対策の一層の強化を図っていきたいと考えています。

どーなっているの？

市民の皆様からいただいたご意見、ご要望にお答えするコーナーです。

Q1:安心・安全のビーチを目指して

市民の方から、「逗子海岸にガラスなどの危険物を捨てられるゴミ箱も設置してはどうか」とのご意見をいただきました。この方はよく逗子海岸を散歩されるそうですが、その際にガラスや釘など、ケガをしてしまう恐れがあるものを見つけた時は自宅へ持ち帰り処分しているとのこと。ご近所の方であればそうした対応も可能でしょうが、市外から来られている方が捨ててくださった場合などはそうもいかないため、トイレ前に設置してあるゴミ箱のところに子ども達を取り出すことができない形状で危険物ゴミ箱があった方が良いのではとのことでした。この件について担当所管に申し入れたところ、検討する旨の回答があったところです。

日頃ボランティアで清掃活動をしてくださっている方々は多くいらっしゃいますが、さらに多くの人たちが、より安全できれいなビーチづくりを意識してくださるようになったら嬉しい限りです。



Q2:海岸玄関口の水溜り対策

シンボルロードを抜けて逗子海岸に向かう人達は季節を問わず数多くいらっしゃいます。JR逗子駅、京急新逗子駅からのアクセスも良いため、特に市外から来られる方の大半はこのルートを通るのではないのでしょうか。住宅街から海岸に向かう最後に134号線の下を通るトンネルがありますが、水捌けが悪く、トイレ側のスロープを利用して海岸に向かわざるを得ない時が多々あります。こうした現状に対し、「通路に傾斜をつけて水が溜まらないようにしたり、国道134号線からの排水位置を変更するなどの対策を取っていただきたい」とのご意見を近隣住民の方からいただきました。この件について市の担当所管に提言したところ、有効な方法を協議し、対応するとの回答がありました。

先日開催された花火大会の日もそうでしたが、海岸でイベント等が行われる度に市の職員をはじめ、イベント関係者が当該通路の水を取り除くために作業をする事も間々あります。こうした事も考えると改修の必要性は高いと感じます。



Q3:迅速な対応で段差解消

「新逗子通りの歩道に段差ができており、危ない状況になっている」とのお話を近隣商店の方から頂き現地を確認。インターロッキングブロックの箇所が陥没しており、コンクリートとの間に最大4cmの段差ができていました。

陥没している歩道はJR逗子駅と京急新逗子駅の間に位置しており、歩行者も多い場所であるため、担当所管に早期の改善を要請いたしました。



翌日には改修工事が完了。担当所管の迅速な対応に感謝です。



Q4:ゴミステーションの大掃除

地域の方から、「久木4丁目の入会橋陸橋下にあるゴミステーションの環境が酷いのでどうかしてほしい」とのお話がありました。この件に関しては市の環境クリーンセンターに対応を求め、全てのゴミの撤去を行っていただいたところです。

当該ステーションにおいては、過去に重点監視ステーションとして行政主導での環境改善を図ったことがありますが、監視対象から外れ時間が経過すると元の状態に戻ってしまった経緯もあることから、今後は地域の町内会並びに廃棄物減量等推進委員の方を行政がサポートする形で日常的に改善を図っていくこととなりました。



トラック2台分の不法投棄ゴミを撤去。



あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。

Tel / Fax: 046-871-7368 E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp